

酪農の発展に向けて新たな一歩

9月14日、第70回町ホルスタイン共進会がくずまき高原牧場チャレンジハウスで開催され、51頭が出品されました。開会行事では、過去の町共進会を記念して、過去の町共進



△あいさつを述べる鈴木町長
◁堂々とした表情で審査を受けるリードマンの皆さん



厳正に審査する前田審査員（円内）と未經産牛の部名誉賞に輝いた中村さんの出品牛⑥と経産牛の部名誉賞を受賞した㈱Peace Valley Dalryの出品牛

会において4回以上名誉賞を受賞した出品者6人を表彰。町ホルスタイン共進会実行委員会会長の鈴木重男町長から表彰状が贈られました。その後鈴木町長が「葛巻町の酪農

の長い歴史の中で、厳しい局面を丸となって知恵を出し合い何度も乗り越えてきた。先人の教えを教訓に酪農の発展へ大きな一歩となる共進会を続けていきたいと思います」とあいさつし、出品者を激励しました。

出品牛の審査は前田直樹審査員（北海道）が体型や資質能力を厳正に審査。その結果、未經産牛の部では中村大地さん（橋場）が、経産牛の部では㈱Peace Valley Dalry（八幡勝幸代表・星野）が名誉賞に輝きました。

中村さんは「日頃からサポートしてくれた仲間たちのおかげで2年連続名誉賞を受賞できた。来年に向けて牛の管理を徹底して頑張りたい」と受賞の喜びを語り、八幡さんは「70回の節目に名誉賞を受賞でき光栄。来年の全国の共進会に向けて町同志会で切磋琢磨していきたい」と今後の活躍に意欲を見せました。

★70回記念表彰者（敬称略）

未經産牛の部と経産牛の部に区分された第20回から第69回の共進会で、4回以上名誉賞を受賞した出品者を表彰。

▼名誉賞9回 八幡勝幸（星野）

▼名誉賞7回 漆眞下孝幸（天沢）

▼名誉賞5回 鈴木茂幸（小屋瀬）

▼名誉賞4回 藤岡俊策（田代）

▼各部の結果（敬称略）

■未經産牛の部

▽ジュニアの部 川村竜太（栗山）

▽第1部 中村大地

▽第2部 中村大地

▽第3部 ㈱GRFホルスタインズ

▽第4部 松浦陽治（江川馬淵）

【名誉賞】 中村大地（第1部金賞1席）

【準名誉賞】 中村大地

（第2部金賞1席）

■経産牛の部

▽第5部 ㈱Peace Valley Dalry

▽第6部 ㈱GRFホルスタインズ

▽第7部 ㈱葛巻町畜産開発公社

▽第8部 ㈱Peace Valley Dalry

▽第9部 中八角保広

▽第10部 ㈱Peace Valley Dalry

【名誉賞】 ㈱Peace Valley Dalry

（第8部金賞1席）

【準名誉賞】 漆眞下恵（大沢）

（第8部金賞2席）

■牧場牛群

▽第11部 ㈱Peace Valley Dalry

将来世代も大活躍！

ジュニアの部では子どもたちもリードマンに挑戦。中村大地さんの出品牛をリードした上野一毅さん（五日市小5年）がベストリードマンに輝きました。一毅さんは「1位を取れてうれしい。来年は1人で牛をリードできるよう頑張りたい」と笑顔で今後の目標について話しました。



見事なリードを見せた一毅さん

第68回岩手県畜産共進会ホルスタイン種

■本町入賞者
※一等賞のみ掲載
【経産牛の部】
△㈱GRFホルスタインズ（第7部1等賞）
△㈱Peace Valley Dalry（第10部1等賞）

星野地区で総合防災訓練実施 防災意識を高める機会に

町総合防災訓練が9月1日、旧星野小学校周辺で行われ、各地区自主防災隊や町消防団など約170人が参加しました。この日は星野地区で川の増水による浸水被害と土砂災害の発生が懸念される状況を想定し、さまざまな訓練が行われました。

パーティションや仮設トイレを組み立てる避難所開設・運営訓練では、自主防災隊や地域の皆さんが職員の指示を受けながら協力して作業を行いました。完成後には使い方を質問するなど積極的に訓練に参加している姿がうかがえました。煙が充満した空間を歩行する煙体験訓練では「パニックになる」「まったく前が見えなくて怖い」などの声が聞かれ、火災や災害の怖さを体感していました。

そのほかにも初期消火訓練や心肺蘇生訓練、消防団による水防工法訓練や土砂災害救出訓練などが行われ、参加した住民らは改めて訓練の重要性を感じ、防災への意識をより一層高めた様子でした。



①初期消火訓練に取り組む星野地区の皆さん②協力して避難所の仕切りを組み立てる自主防災隊の皆さん③煙が充満した空間を歩行する煙体験訓練④AEDを使用した心肺蘇生訓練⑤迅速に土のう袋を作る消防団員

台風や大雨による災害に注意しましょう

近年、予想できない大雨や台風による被害が発生しています。

8月27日に葛巻町を含む岩手県内陸で線状降水帯による局地的な大雨が観測されました。また8月12日には大船渡市付近に台風5号が上陸しました。統計をはじめた昭和26年以降、東北の太平洋側から台風が上陸するのは、平成28年の台風10号、令和3年の台風8号に続き3例目となります。

今後も気象情報やキキクルなどの情報に注視し、大雨や台風に対応しましょう。

キキクルとは？

「キキクル（大雨警報・洪水警報の危険度分布）」は、土砂災害、浸水害、洪水災害発生の危険度を地図上で5段階に色分けして表示したもので、常時10分ごとに更新しています。雨が強まったとき、または大雨・洪水警報などが発表されたときには、実際にどこでどのような災害の危険性が高まっているのかを把握することができます。



気象庁キキクル（危険度分布）